

第16回 神戸女学院大学 絵本翻訳コンクール 奨励賞

清風南海高等学校 2年

高村 翔愛

あるひとつぜん

それは ふいに あらわれた。

ほんとうに とつぜん。

まるで そらから ぽとんと おちてきたみたい。

でも はじめは そこに なかったんだ。

おはよう、サボテンさん。

いち

に

くつ

くつ

えんぴつ。

えんぴつ。

えんぴつ。

ぜんぶ いつもどおり。

あ——

う——

ガラガラガラガラ

ぺっ！

した

した

よこ

よこ

シャカシャカシャカシャカ

ふんふんふ～ん...

...らんらんら～ん

はじめ そこにいたのは ひとりの おとこのこ。

おとこのこには じぶんだけの おうちがある。

しろいやねに、

しろいてすり。

そして あめを ためる みずだる。

にわには ホースが あって、

しばふが ひろがり、
ガーデニアの おはなが さいている。

リからはじまる おはな、
アからはじまる おはな。

リリー
リリー
リリー
アスター
アスター
アスター

てんじょうから ひかる シャンデリア。
あたたく ひがともる ストープ。
たなには ほんがずらりと ならんでる。
つややかな フリスビーが 4まい。
たいせつに とってある わしの はねが 1まい。

おとこのこは ピアノも もってる。
だー だー だー だー だーん。ううん、ちがう。
だー だー だーん。ちがう、ちがう。
だー だー だー だーん。それだ！

おとこのこは ぜんぶ もってる。
スプーン3はいの おさとうをいれた あまい おちゃも。
でも なんだか なにかが たりない。
うーん...
それって いったい なんだろう？

あるひは ながく ながく つづく。
そんなひは パンくずを かぞえる。
...じゅうななと 4ぶんの1、
じゅうななと はんぶん...
それから そっとはいて ちりとりにあつめる。
それをおそとへ もって行って、たいひばこに いれる。
そして あおい そらを じっと みつめる。

おとこのこは じぶんの つくえを ととのえる。
えんぴつ。
えんぴつ。
えんぴつ。

かくれんぼを することも ある。

もういいかい？ いくよ、サボテンさん！

おとこのこが サボテンさんに さされることは ぜんぜん ない。

それでも きゅうきゅうばこを ちゃんと じゅんびしてある。

いちおうね。

はさみ。ばんそうこう。ピンセット。

そして ちいさく まかれた ほうたい。

もしかしたらに そなえて。

でも...

...それって いったい なにか おこるんだろう？

ひびは ゆるやかに ながれていく。

あ—— う——って はをみがいて、

スプーン3はいの おさとうをいれた あまいおちゃを のむ。

そして おひさまが しずむときには、おお——って つぶやく。

おやすみ、サボテンさん。

おとこのこは あおむけになって、

そっと めを とじる。

そして すうーっと...

...ねむりにつく。

あるあさ おとこのこは はやく めを さました。

いつもと なにかが ちがう。

おはよう、サボテ...イタッ！

いち

に

くつ

わあ！

えんぴつ。

えんぴつ。

おや？

「おーい」 おとこのこは おそるおそる こえを だす。

「だれか そこに いるの？」

でも...

...それって いったい だれなんだろう？

きょうは やることが たくさん。

すてきな ひととき。

おとこのこは なにかが へんだってことを

すっかり わすれてしまいそう。

それは そのときまで...

わすれないで

わすれないで

あっ！あしあと！

あ

あ

あいさつ

あか

あしあと

...くまの あしあとは すぐに わかる...

くまだ！

...くまは きのみを たべて ほらあなに かくれる...

かくれる！

ぼくが かぞえるよ！

でも サボテンさんじゃない だれかと

かくれんぼするのは はじめて。

なんばんまで かぞえればいいのか わからない。

だから おとこのこは かぞえて かぞえて また かぞえる。

...よんせんはっぴゃくなな...きゅうじゅうはちじゅう...

もう これいじょう かぞえられない。

もういいかい？ いくよ！

「み一つけた」おとこのこが ささやくと

くまは かたほうの めを ひらいた。

「つぎは きみの ばんだよ」おとこのこが そういうと

くまは もうかたほうの めも ひらいた。

「10まで かぞえてね」おとこのこは おおきなこえで そういつて、ぱたぱたと にげていった。

「すごいね！

みつかった！」

「それに きみは みつけたんだよ...

...ケーキまで！」

「とんでる！」

「ぼく とんでるううううううーっ！」

むかしはおとこのこと おうちだけ。
すべてが きちんとしていた。
でも いまは もう ぜんぜん ちがう。
あちこちに ちらばった ほん。
われた よんまいの フリスビー。
すこし すりきれた わしの はね。

それからね くまも いるんだ。

がおおおおおお——！
がおおおおおおおお———っ！

おやすみ、サボテンさん。
おやすみ、くまさん。

おとこのこは ふわふわに つつまれて ねる。
くまさんのおなかのうえで、ね。

それは、ふいに あらわれた。
ほんとうに とつぜん。
まるで そらから ぽとんと おちてきたみたい。
でも はじめは そこに なかったんだ。